

平成27年度「東北大学オープンキャンパスツアーおよび学習合宿」実施報告書

(いばらき版サイエンスハイスクール事業)

Rマスト委員会

- 1 日 時 平成27年7月30日(木)～31日(金) 1泊2日
- 2 場 所 東北大学 星陵キャンパス・青葉山キャンパス・川内キャンパス
福島県いわき市久之浜町・双葉郡富岡町
- 3 ねらい 医学科志望生徒
 - ・東北大学のオープンキャンパスに参加することで医学科合格への気持ちを高める。
 - ・山形大学医学部に通う本校卒業生から、大学の様子や受験勉強の話を聴く。難関大学志望生徒
 - ・東北大学のオープンキャンパスに参加することで難関大学合格への気持ちを高める。
 - ・東北大学に通う本校卒業生から、大学の様子や受験勉強の話を聴く。全員共通
 - ・福島県いわき市の浜風商店街で、東日本大震災について学ぶ。
 - ・旅館の会議室やバス車内において、学習法などについて学ぶ。
- 4 参加者 15名(医学特別ゼミ登録生徒8名および難関大学志望生徒7名)
- 5 引率者 小野瀬勇一(進路指導部Rマスト委員長)、井坂直樹(SSH部)
- 6 詳 細

【1日目】7月30日(木)

6:30 学校出発、バス車内での学習

- ・Rマスト委員長講話①「医学・難関大学合格に向けて」(小野瀬)
 - ☆今は基礎・基本をきちんとやって、出された課題を何度もしっかりやるのが大切だと思いました。
 - ☆普通のことを普通でないくらいに徹底的にやる人が受かるとわかりました。
- ・学習会「English Time」(英語による自己紹介・交流会)(小野瀬)
- ・東北大学卒業生の話「東北大学の魅力! 仙台の魅力!」(井坂)
 - ☆東北大学は、学ぶ環境においても生活環境においてもとても過ごしやすいところだとわかった。
 - ☆仙台は、海や山もあり、ほどよい都会であり、おいしいものもたくさんあり、とても良い所だと思った。
 - ☆東北大の情報や特徴、学生の様子などを聞くことができて、東北大を少し近く感じられた。



英語で活発に話し合う

11:00 東北大学オープンキャンパス

- ・卒業生を囲む会①（67回生・東北大学1年 中村陸生，小柳優也，福山雄大）
☆先輩方は何気なく言っているけれど，すごいことをしていたのだなと思った。
- ・自由見学（星陵キャンパス，青葉山キャンパス，川内キャンパス）
☆腹腔鏡の操作が難しかった。縫合のほうも難しく，上手にできなかったけれど，実際に手術で使う技術にふれることができて，有意義だった。
☆工学部に行ったが，見たこともないようなものがたくさんあって楽しかった。



先輩の話を熱心に聴く



人工心臓の仕組みを学ぶ



最先端の実習室も公開

17:00 宿泊地「岩沼屋」到着

18:15 夕食

19:30 会議室「檀」（まゆみ）での学習会

- ・Rマスト委員長講話②「今後の学習計画」（小野瀬）
☆今までは覚えようとせずただやっていただけだったと気づきました。
☆先生の的確なアドバイスは，具体的でわかりやすく，今すぐにでも始められるものでした。私も歯磨きしながら勉強したいです。
- ・卒業生を囲む会②（63回生・山形大学医学部医学科5年 高橋萌）
☆先輩のスキマ時間の活用に圧倒されたのとは感動したので，私もやらなきゃとすごく心に響きました。
☆部活は息抜きで「やらせてもらった」という意識に驚いた。高橋先輩のように，しっかり両立させたい。
- ・学習会「ハイレベル数学」（井坂）
☆数学は得意とは言えないが，好きな教科なので，自信を持って得意と言えるようになりたい。そのために，一つの計算がそうなる理由を考えて学ぼうと思った。



高橋先輩の熱血講義

・分科会

医学部希望者：続・卒業生を囲む会②（高橋萌）

☆やっぱり自分の夢に近づくためには勉強するしかない。

難関大希望者：続・「ハイレベル数学」（井坂）

☆やはり復習は大切で，模試の復習はやったほうが良いとわかりました。

☆大学の入試問題なんて解いたことがなかったが，今，学校の授業でやることが出るものなのだと思った。だから，今やるべきことは今のうちにマスターしておかなければいけないと思った。

【2日目】7月31日（金）

6：30 磊々峡への散策

7：00 朝食

8：30 会議室「檀」（まゆみ）での学習会

・学習会「ハイレベル英語」（小野瀬）

☆私は英語が一番好きなのですが、小野瀬先生が教えてくれた訳し方は、本当にためになり、さらに英語をおもしろく感じて、学びたくなりました！
☆辞書で語の意味を1つしか見ていなかったのに、他の意味も覚えるようにしたいです。



早起きして元気に出発



磊々峡で「ハート」発見

10：00 「岩沼屋」出発

11：20 昼食・休憩（南相馬鹿島SA）

バス車内での震災学習（井坂）



常磐道沿いの「トン袋」



モニタリング・ポスト

13：30 震災学習（いわき語り部の会・鈴木玉江さん）

☆被災地のニュースは減ったけれど、まだトン袋がたくさん積まれていて、まだ復興は進んでいないのだと思った。
☆鈴木さんのお話は、報道をはるかに超えて伝わってきました。
☆人の気配がなく、黒い袋に包まれた土が広がっていて……胸がしめつけられました。
☆トン袋やそのままの家を見て、驚きしか感じるができなかった。必死に進んでいる鈴木さんを見て、自分も何かできないかと思った。
☆「はじめての一步を誰かが踏み出さないと始まらない」という言葉が印象に残りました。はじめての一步は、どんなことでもためらいがちです。ましてや、震災で何もかも失った状態で踏み出す一步は、とてつもなく大きな一步だったと思います。
☆鈴木さんの住む町は、地域全体のつながりがあったからこそ、子どもを一人も残すことなく救えたと聞いて、なにげない地域の絆が災害時に力になると知りました。普段から挨拶をするなど、地域の人と関わるのが大切だと改めて思いました。
☆あの日から、近所の人や登校中に会った人に積極的に挨拶するよう心掛けています。



思いを込めて語る鈴木さん



久之浜の海を眺める



時が止まったままの富岡町

7 生徒の感想「2日間のツアー全体を振り返っての感想および今後の決意」

☆まず驚いたのは、なかなか関われない1年生がこんなにも意欲的であり、目標に向けてそれぞれ努力しているのだということでした。私もモチベーションの高かった1年生のころを思い出してがんばらなければいけないと、改めて思わせてもらいました。このツアーで得るものは大きかったです。

☆普段は聞けない勉強法や、どう考えて解けばいいかをわかりやすく教えてもらった。これを通して、目標を高く持って、復習を大切に、毎回のテストで高得点を取りたいと思います。

☆ツアーを振り返って、大学はとて多くの学問を学び、追求できることを知りました。また、勉強会では、勉強の仕方を考え直し、勉強に対する考え方が変わりました。今後は、英語を毎日コツコツと覚えて、数学も毎日欠かさずにやろうと思います。

☆自分は勉強・生活においてまだまだだな、このままではいけないと思った。だから、この2日間で得たことをもとに、少しずつでもできることからコツコツと頑張っていきたい。

☆このツアーで学んだ具体的な勉強法などを実際に生かしていきたい。モチベーションを上げることができたので、この夏休みは怠けることなく、復習を大切に、勉強に取り組んでいきたい。

☆医者になってたくさんの人のことを助けたいと思いました。また、勉強のやり方も学ぶことができて、自分は復習をしていなかったことに気づいたので、学力を伸ばすために、復習もやろうと思いました。

☆2日目の震災学習では、自分が医師になってどうしたいのかがわかったような気がしました。医師に限らず、さまざまな人たちが支え合い、助け合って生きなければならないと考えさせられました。

☆被災地の方々ががんばっているのに、自分たちはごく普通の生活をしていると考ええると、とても胸が痛みました。小さなことでもいいから何か被災地に貢献できないかと考えていきたいです。

☆想像を超えるものを目の当たりにして、衝撃を受けました。見たこともない放射線量の数値、除染作業中の旗、大量のトン袋、地震でボロボロになったお店の屋根や横に倒れている車、人気のない家、荒れ果てた土地など、多くのものを見て、胸が痛みました。初めて生で見る光景から、人々の苦しさが伝わってきました。あの日の出来事は絶対に忘れてはいけなかったと思いました。

☆未来を見据えたキャンパスツアー、過去を思い出した被災地見学、今の自分を見つめ直す先輩や先生との学習会と、さまざまな視点で学ぶことができたと思います。特に、先輩や先生の言葉のメモは、毎日勉強の合間に見て、モチベーションのアップに役立てています。努力、努力で、夢をつかみます！

☆もっと夢を大きく持ってみようと前向きな気持ちになれました。先輩の高校生活の話を聞いて、努力次第で自分の未来はどこまでも広がるのだと思いました。また、被災地を見たからこそ、人のために働きたいと思いました。今の自分には勉強することが仕事だけれど、それが将来の人を救うことにつながるように、今を大切にしたいです！